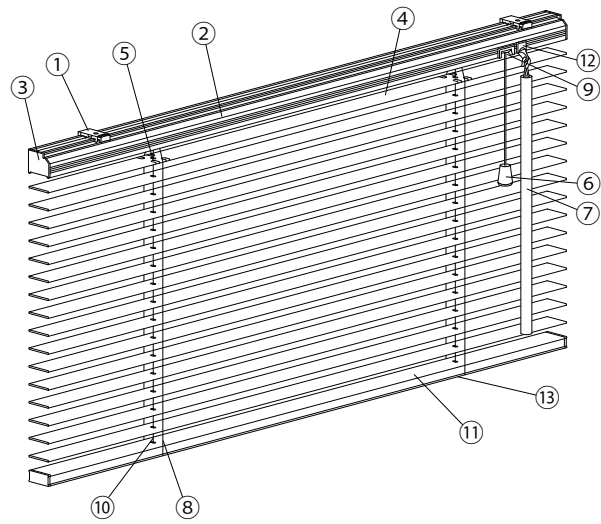


●構造と部品名



- ①取付ブラケット
- ②ヘッドボックス
- ③ボックスキャップ
- ④スラット
- ⑤スラット押さえ
- ⑥タッセル
- ⑦チルトポール
- ⑧ラダーコード
- ⑨ストッパー
- ⑩昇降コード
- ⑪ボトムレール
- ⑫チルターカバー
- ⑬コードホルダー

●材質表示

部品名	材質
ヘッドボックス	アルミ押出型材
取付ブラケット	ステンレス
スラット	天然木
ボトムレール	天然木
バランス(オプション)	天然木

●付属部品

製品幅	1300mm以下	1310~1800mm	1810~2000mm
取付ブラケット	2 個	3 個	4 個
木ビス	2 個	3 個	4 個
チルトポール	1 本		

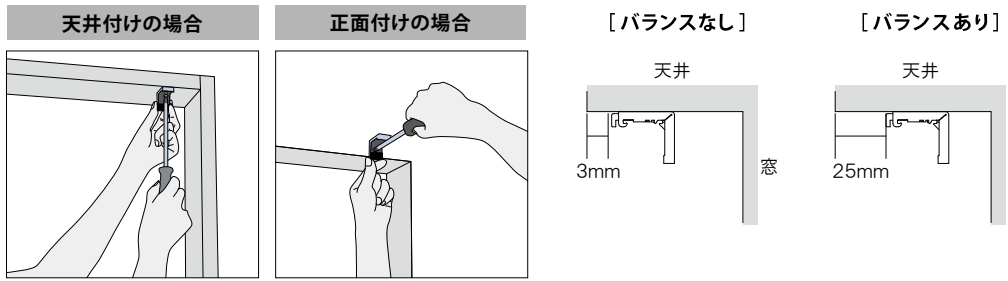
●取付方法

お取付前に

- ・取付ける時は木部の厚みが10mm 以上あることを確認してください。

1. 取付ブラケットを取付けます。

ブラケットの取付方法は、下図のような天井付けと正面付けがあります。



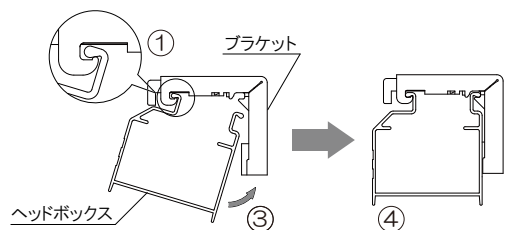
- ①ブラケットを製品の両端部から約40mmの位置にビスで取り付けます。ブラケットが3個以上の場合は、ブラケット間隔が均等になるように取り付けてください。
【天井付け：バランスなしの場合】窓枠の手前からブラケットの先端を窓側に3mm 離れた位置に取り付けていただくと、製品が綺麗に納まります。
【天井付け：バランスありの場合】窓枠の手前からブラケットの先端を窓側に25mm 離れた位置に取り付けていただくと、製品が綺麗に納まります。

- ②ブラケットが確実に固定されていることを確認してください。

2. 製品を取り付けます。

取付作業の前に、ヘッドボックスを手で掴めるようにするため、ヘッドボックスとスラットの間に指が通る程度(10mm程度)スラットを下げておいてください。

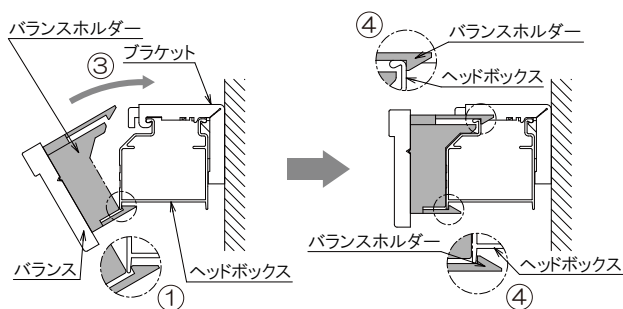
- ①ヘッドボックスを両手で持ち、取り付けたブラケットのツメにヘッドボックスを引っ掛けてください。
- ②ヘッドボックスをブラケットのツメに引っ掛けた状態で、左右の位置決めをしてください。
- ③ヘッドボックスを矢印の方向に「カチッ」と音がするまで押し上げてください。
- ④全てのブラケットに確実にヘッドボックスが固定されていることを確認してください。
- ⑤最後にチルトポールを取り付けてください。



3. バランス [前飾り] (オプション) を取り付けます。

- ①バランスを持ち、ヘッドボックス下部のツメにバランスホルダー下側のツメを引っ掛けてください。
- ②バランスをヘッドボックスに引っ掛けた状態で左右の位置決めをしてください。
- ③バランスを矢印の方向に押し込み、ヘッドボックス上部にバランスホルダー上側のツメを引っ掛けてください。
- ④最後にバランスが確実にヘッドボックスに固定されていることを確認してください。

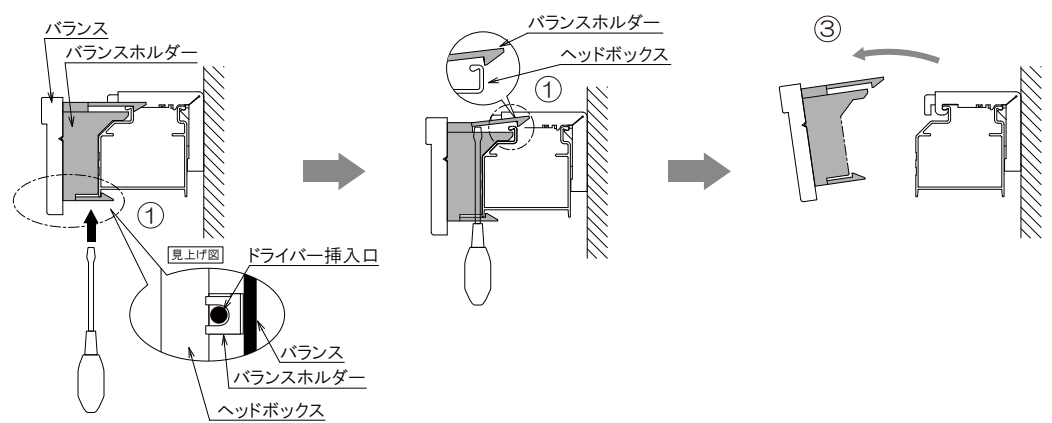
※バランスホルダーがチルトポールに当たらないように取り付けてください。



●取り外し方法

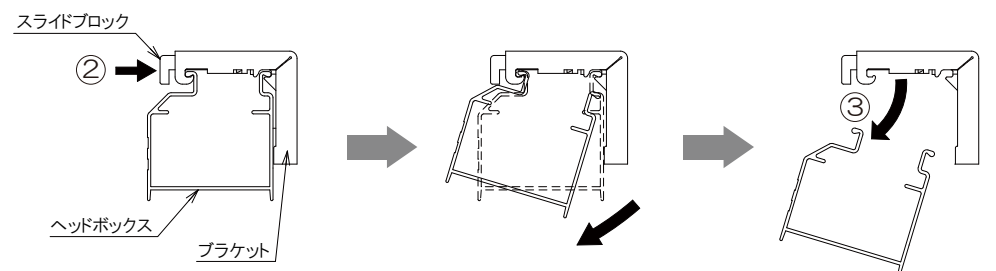
1. バランス [前飾り] (オプション) を取り外します。

- ①バランスを手で押さえた状態で、バランスホルダー下側の挿入口からドライバーを左図のように差し込んでください。
- ②ドライバーをさらに差し込み、バランスホルダー上側のツメを持ち上げてください。
- ③②の状態、バランスを矢印の方向に取り外してください。
※ドライバーは軸の長さが40mm以上のものをご用意ください。



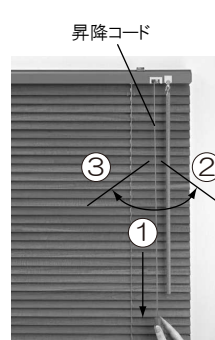
2. 製品本体を取り外します。

- ①製品を完全にたたみ込んだ状態にしてください。
- ②製品を手で支えた状態でブラケットのスライドブロックを押すと、ヘッドボックス後側のロックが解除され、前側のツメだけが引っ掛かった状態になります。
- ③ヘッドボックス後側のロックが外れたら、ヘッドボックス前側のツメをブラケットから外してください。
※スライドブロックを押すときは、必ず製品本体を手で支えながら行ってください。製品が落下し、思わぬ事故につながる可能性があります。



●操作方法

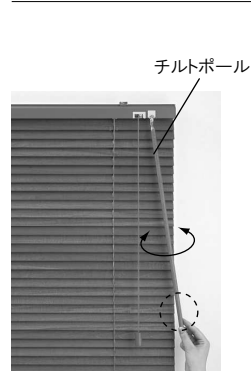
昇降操作 ※昇降操作をする前には、必ずスラットを水平な状態にしてください。



- ①昇降コードを引くとスラットが上がります。
- ②昇降コードを引き、外側へ傾けると途中で停止します。
- ③スラットを下げる場合は、軽く昇降コードを引き内側へ傾けて手をゆっくり緩めます。

※スラットが全てたたみ込まれますと、それ以上は上がりません。無理に昇降コードを引くと故障の原因となります。
※スラットを下げるときに昇降コードから手を離すと、ブラインドが勢いよく下降しますので、必ず昇降コードに手を添えて操作してください。

開閉操作 (スラットの角度調整)



スラットを開閉(回転)させる時は、チルトポールを写真のように回転させるとスラットの角度調整ができます。

※スラットが全て閉まるとそれ以上チルトポールは回せません。無理にチルトポールを回すと故障の原因となります。